

第 1 期岩倉市自殺対策計画の評価

第 1 期岩倉市自殺対策計画（以下「第 1 期計画」という。）では、「気づき、つなぎ、見守る いのち支え合う^{けんこう} 健幸のまち いわくら」を理念として掲げ、《地域におけるネットワークの構築・強化》《自殺対策を支える人材の育成》《広報・啓発の充実》《生きることの促進要因を増やす支援》の 4 本を基本施策とするとともに、《若い世代への支援》《働き盛りの世代への支援》《高齢者への支援》の 3 本を重点施策として位置付け、さまざまな取組を推進してきました。

1 数値目標の評価

▼第 1 期計画の数値目標

指 標	結 果	評 価	目 標
自殺死亡率（2017年と比べて30%低下）	2021年 12.5	×	2023年 5.8以下

資料：地域自殺実態プロフィール

第 1 期計画では、最終年である2023（令和 5）年までに、2017（平成29）年の自殺死亡率と比べて30%減少させる「5.8以下」を目標としていましたが、直近のデータである2021（令和 3）年において、12.5と目標には大きく及ばない実績となっています。

自殺プロフィールによる2017年から2021年のデータから、自殺死亡率の上昇については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響をはじめ、本市においては60歳以上の比較的高年齢者の自殺が多いことから、経済的な問題や社会的な孤立などが背景にあると考えられます。

2 施策の評価

第 2 期岩倉市自殺対策計画の策定にあたり、第 1 期計画の施策に基づく取組について、進捗状況をもとに評価しました。

なお、市民意識調査にかかる部分は調査終了後に改めて評価します。

【評価表記】 ○：順調 △：概ね順調 ×：努力が必要

＜基本施策＞

基本施策 1 地域におけるネットワークの構築・強化

評価：△			
施策の展開	(1) 関係機関とのネットワークの強化 (2) 庁内での分野を超えたネットワークの構築		
進捗状況 (主な成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から専門職の連携が図れるよう、地域福祉計画における「いわくらあんしんねっと」と関連して交流会を実施（オンラインを含む）することでネットワークの強化を図ることができた。 ・地域福祉計画における庁内連携会議、断らない相談情報共有会議において、自殺対策等関連施策についても情報共有の場として位置づけ連携体制の構築を図ることができた。 		
評価指標	指 標	結 果	評 価
	○岩倉市自殺対策計画推進委員会の開催	年1回(令4)	△
	目 標		年2回

基本施策 2 自殺対策を支える人材の育成

評価：△			
施策の展開	(1) 職員等に対する研修 (2) 市民に対するゲートキーパー研修の機会の提供		
進捗状況 (主な成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー研修を実施し、市民、民生委員、市職員の理解促進が図られてきている。 ・教職員については、各学校において、いじめ不登校対策委員会や生徒指導委員会で情報共有や研修を行い理解促進を図っている。 		
評価指標	指 標	結 果	評 価
	○一般市民向けゲートキーパー研修の開催	2回開催(令4)	○
	○市職員のゲートキーパー数	累計89人	△
	目 標		実施
			200人以上

基本施策3 広報・啓発の充実

評価：未				
施策の展開	(1) 自殺への正しい認識や自殺対策の普及啓発 (2) 相談窓口の周知			
進捗状況 (主な成果)	・市広報紙、市ホームページ等を通じて定期的に周知啓発、情報提供を行っている。 ・SNS相談窓口情報を定期的に更新して周知している。			
評価指標	指 標	調査結果	評価	目 標
	○ゲートキーパーという言葉も意味も知っている人の増加	未	未	30%
	○自殺は自分には関係がないと思わない人の増加	未	未	50%
	○自殺対策が自分に関わる問題だと思う人の増加	未	未	50%
	○相談窓口を知っている人の増加 ・臨床心理士によるこころの健康相談 ・メンタルヘルス相談 ・あいちこころのほっとライン365 ・名古屋いのちの電話 ・24時間子供SOSダイヤル ・よりそいホットライン ・チャイルドラインあいち	未 未 未 未 未 未 未	未 未 未 未 未 未 未	30% 30% 30% 30% 30% 30% 30%

基本施策4 生きることの促進要因を増やす支援

評価：未				
施策の展開	(1) 居場所づくりの推進 (2) 自殺未遂者への支援 (3) 大切な人を亡くした人への支援 (4) 支援者へのメンタルヘルス対策			
進捗状況 (主な成果)	・障がいのある人、高齢者、子育て中の親子、ひきこもりの人、小中学生の保護者等を対象に交流の場、相談できる場など社会参加の機会づくりを進めた。 ・関係機関と連携し、取組状況等について情報共有を図ることができた。 ・「大切な人を亡くされた人のお話会」を定期的に開催し、参加者同士の情報交換や現状把握とともに、早期の相談支援につなげることができた。 ・介護保険制度等の適切な運営により家族介護者の負担軽減を図ることができた。			
評価指標	指 標	調査結果	評価	目 標
	○幸せだと感じる人の増加	未	未	平均7.5点

＜重点施策＞

重点施策 1 若い世代への支援

		評価：未																																	
施策の展開	(1) 児童生徒へのSOSの出し方に関する教育の推進 (2) 若者の就労支援の充実 (3) SNSによる相談窓口の周知																																		
進捗状況 (主な成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校で人権教育に取り組むとともに、教育相談等の充実により、いじめや社会で直面する困難への対処方法等の学習と命を大切にする意識の醸成に繋がった。 ・いちのみや若者サポートステーションからの出張相談窓口の活用により、若者の社会的自立を支援することができた。 ・市広報紙、市ホームページ、相談窓口へのチラシの設置等を通じてSNS相談窓口の周知を図ることができた。 																																		
評価指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">結 果</th> <th style="text-align: center;">評 価</th> <th style="text-align: center;">目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○SOSの出し方に関する教育の授業の実施</td> <td>全小中学校で人権教育に取り組んだ</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>1年に1回以上全小中学校で実施</td> </tr> <tr> <td>○若い世代の自殺者の減少 ・39歳未満</td> <td style="text-align: center;">2017～2021年 9人</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">2019～2023年 7人以下</td> </tr> <tr> <td>○若い世代の本気で自殺したいと思ったことがある人の減少</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">10%</td> </tr> <tr> <td>・男性 20代</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">10%</td> </tr> <tr> <td> 30代</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">10%</td> </tr> <tr> <td>・女性 20代</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">10%</td> </tr> <tr> <td> 30代</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">未</td> <td style="text-align: center;">10%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	結 果	評 価	目 標	○SOSの出し方に関する教育の授業の実施	全小中学校で人権教育に取り組んだ	○	1年に1回以上全小中学校で実施	○若い世代の自殺者の減少 ・39歳未満	2017～2021年 9人	×	2019～2023年 7人以下	○若い世代の本気で自殺したいと思ったことがある人の減少	未	未	10%	・男性 20代	未	未	10%	30代	未	未	10%	・女性 20代	未	未	10%	30代	未	未	10%		
指 標	結 果	評 価	目 標																																
○SOSの出し方に関する教育の授業の実施	全小中学校で人権教育に取り組んだ	○	1年に1回以上全小中学校で実施																																
○若い世代の自殺者の減少 ・39歳未満	2017～2021年 9人	×	2019～2023年 7人以下																																
○若い世代の本気で自殺したいと思ったことがある人の減少	未	未	10%																																
・男性 20代	未	未	10%																																
30代	未	未	10%																																
・女性 20代	未	未	10%																																
30代	未	未	10%																																

重点施策2 働き盛りの世代への支援

		評価：未			
施策の展開	(1) 無職者・生活困窮者への支援 (2) 働く人におけるメンタルヘルス対策				
進捗状況 (主な成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークとの連携により情報提供するなど、失業者の支援に努めることができた。 ・生活困窮者への相談支援等を通じて、自立に向けた生活課題を利用者と一緒に考える機会を設けることができた。 ・職場のメンタルヘルス対策や労働相談について、窓口にパンフレットを設置するとともに、商工会を通じて事業者にも周知できた。 				
評価指標		指 標	結 果	評 価	目 標
		○有職者の自殺者の減少	2017～2021年 8人	×	2019～2023年 5人以下
		○無職者の自殺者の減少	2017～2021年 21人	×	2019～2023年 13人以下
		○働き盛りの世代の自殺者の減少 ・40～59歳	2017～2021年 5人	○	2019～2023年 5人以下
		○働き盛りの世代の本気で自殺したいと思 ったことがある人の減少	未	未	10%
		・男性 40代	未	未	10%
		50代	未	未	10%
		・女性 40代	未	未	10%
	50代	未	未	10%	
	○本気で自殺したいと思ったことが「ある」 と回答した人の理由の中で「仕事のこと」 の減少	未	未	20%	
	○日頃感じている悩みやストレスにおいて 「仕事のこと」を選ぶ人の減少	未	未	20%	

重点施策3 高齢者への支援

		評価：未		
施策の展開	(1) 高齢者の居場所づくりと役立ち感の醸成 (2) 地域包括ケアシステムの充実と相談支援の充実			
進捗状況 (主な成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のサロン活動の支援とアクティブシニアの活動の場づくりに努め、高齢者の役立ち感の醸成に寄与できた。 ・民間事業者等との連携を強化して地域の見守り体制の充実を図った。 ・関係機関との連携を強化して相談体制の充実を図った。 			
評価指標	指 標	結 果	評 価	目 標
	○高齢者の自殺者の減少 ・ 60 歳以上	2017～2021 年 15 人	×	2019～2023 年 6 人以下
	○高齢者の本気で自殺したいと思ったことがある人の減少	未	未	5 %
	・ 男性 60 代 70 歳以上	未 未	未 未	5 % 0 %
	・ 女性 60 代 70 歳以上	未 未	未 未	5 % 5 %
○本気で自殺したいと思ったことが「ある」と回答した人の理由の中で「健康のこと」の減少	未	未	20%	
・ 70 歳以上	未	未	30%	
○日頃感じている悩みやストレスにおいて「健康のこと」を選ぶ人の減少	未	未	20%	
・ 男性 60 代 70 歳以上	未 未	未 未	30% 40%	
・ 女性 60 代 70 歳以上	未 未	未 未	30% 40%	